

国東警察署協議会

第1回会議の開催状況

第1 開催月日

令和7年6月18日（水）

第2 出席者

協議会 委員 5名

警察署 署長、副署長、総務会計課長、生活安全刑事課長、地域交通課長、
空港警備派出所長、警備課長 7名

第3 議事の概要

1 管内概況等の説明

警察署から、

- ・管内概況
- ・業務推進状況

について説明がなされた。

2 諮問事項の説明

警察署から令和7年度の諮問事項

- ・詐欺被害防止対策及び交通マナーアップと交通事故抑止対策

について説明がなされた。

3 諮問事項に関する委員からの意見

(1) 広報活動について

委員から「自転車の交通反則通告制度が始まるにあたり、具体的な広報活動が重要と考えるので、ケーブルテレビを活用した広報をお願いしたい。また、小中学生に知らせるためのわかりやすいチラシがあれば、教育委員会を通じて各学校に配布することも検討していただきたい」旨の意見がなされた。

委員から「ケーブルテレビの放送枠が増えたことから、詐欺被害防止、交通事故防止について広報を行ってほしい。その際は、具体性を持った形で広報してほしい。国東で詐欺被害や交通事故が起きていると知ることで、住民は自分事として捉えられると思う」旨の意見がなされた。

委員から「老人クラブ等各種会合にも積極的に赴いて広報していくことも必要である。市では、広報紙に出前講座のリストを載せているので、警察署でも活用すれば地区の会合で講座を行うきっかけになると考える」旨の意見がなされた。

(2) 交通事故抑止対策について

委員から「二次事故を防ぐという観点から、ハイブリッド車や電気自動車が

交通事故で損傷した際、その車体に触れて感電事故が発生する等といったケースがあるので、交通事故処理をする警察官も対処方法を身につけるなどして注意していただきたい」旨の意見がなされた。

委員から「先日、99歳の高齢者が運転する車両が逆走して交通事故が発生するというニュースを見た。人生の最後を豊かなものにするためにも、免許返納に向けた雰囲気を作っていく事も大事ではないかと考える。また、免許を返納したり持っていない高齢者でシニアカーを利用する方が多いので、シニアカーについての勉強会を老人クラブ等において積極的に行っていただきたい」旨の意見がなされた。

4 委員からの意見・要望

(1) 自転車教室の開催について

委員から「子どもの頃から交通ルールを身につけることが大切であると考えるので、中高生のみならず小学校においても乗り方教室等をやってほしい。また外国人の自転車乗りも市内で多く見られるので、事業主を対象とした説明会を開催するなどして職場での教育を促してもらいたい」旨の意見がなされ、警察署から「学校における自転車教室等については、小学校を含めて開催を検討したい。外国人に対する自転車安全教育については、昨年度は管内の外国人研修センターにおいて行ってきたが、同センターの機能が管外に移転したため、今後は事業者への講話等を検討していきたい」旨の説明がなされた。

(2) 熱中症対策について

委員から「事業者に熱中症対策が義務づけられたが、警察署においてはどのような熱中症対策を行っているか」旨の質問がなされ、警察署から「コンビニエンスストア等にパトカーで立ち寄った際に飲料を購入できるようになっているほか、昨年からはサングラス等の暑熱対策資機材を使用できるようにもなった。また、毎朝幹部会議を開催しており、その都度熱中症について必要な対策について指示している」旨の説明がなされた。